

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problems Mailbox.**



請

1,500円

実用新案登録願

昭和49年7月24日

特許庁長官殿

フリガナ

1. 考案の名称

ヘッドホーン用バット



2. 考案者

フリガナ
住所

東京都足立区梅田1丁目15番7号

株式会社 吉田真実内

フリガナ
氏名

吉田 平次郎

3. 実用新案登録出願人

郵便番号 123

住所

東京都足立区梅田1丁目15番7号

名称

株式会社 吉田真実

代表取締役 吉田 平次郎

4. 代理人

郵便番号 110

住所

東京都台東区上野3丁目23番6号

氏名

(1608) 辨理士 旦

方式
審査



六郎 治

(ほか 1 名)

電話 (834) 3621 (代) ~ 6

5. 添附書類の目録

- 委任状
- 明細書
- 図面
- 願書副

(追って補正する)

49 087863



- 通
- 通
- 通
- 通

明 細 書

1

1. 考案の名称 ヘッドホーン用パット

2. 実用新案登録請求の範囲

環状緩接体とこの緩接体の外側に被包し得る
ように形成したカバー体とよりなるヘッドホー
ン用パットにおいて発泡ポリウレタン、その他
の弾性体よりなる環状の緩接体1の外側にベツ
チン、ラシヤ等の如き柔軟にして通気性、吸湿
性のよい生地より裁断せる円形の上面用片2と
同じ生地よりなる帯状片3の両端部を縫合して
輪状に形成した側部用片4とをその外周縁のみ
にて縫着し、さらに側部用片4の裏面内周縁に
塩化ビニールの如き防湿性を有する環状薄片5
の外周縁を縫着してなるカバー体の前記塩化ビ
ニール薄片5と緩接体1の間にヘッドホーン本
体6の鈎部7を挟入し得るように形成したヘ
ッドホーン用パット。

5

10

15

3. 考案の詳細な説明

本考案は発泡ポリウレタン等よりなる環状緩
接体の外側にベツチン、ラシヤの如き柔軟にし

20

て通気性、吸湿性のよい生地より裁断せる円形
 の上面用片と同生地よりなる帯状の布片の両端
 部を縫合して輪状に形成した側部用片とをその
 外周縁のみにて縫着し、さらに側部用片の裏面
 内周縁に塩化ビニールの如き防湿性を有する環
 状薄片の外周縁を縫着してなるカバー体の前記
 塩化ビニール薄片と緩接体の間にヘッドホーン
 本体の銑縁部を挟入し得るように形成したヘッ
 ドホーン用パットに係るものである。

以下図についてその一例の詳細を説明する。
 図中 1 は発泡ポリウレタン又はスポンジの如く
 柔軟なる弾性体よりなり、その中心を円形に開
 口せる環状の緩接体であり、2 はベツチン（ベ
 ルベット）ラシヤ等の如き柔軟にして通気性、
 吸湿性に富み、しかも外観の美麗な生地より裁
 断せる円形の上面用片、3 は 2 と同生地を細巾
 に裁断した帯状片で、この帯状片 3 の両端部を
 縫合して輪状の側部用片 4 を形成し、これを上
 面用片 2 の外周縁部に縫着する。さらに上記側
 部用片 4 の裏面内周縁に塩化ビニール又は塩化

ビニールレザーの如き柔軟にして防湿性を有する環状の薄片 5 の外周縁を縫着してカバー体を形成する。しかしてこのカバー体の前記塩化ビニール薄片 5 と緩接体 1 の側面との間に第 1 図の如くヘッドホン本体 6 の鈎縁部 7 を挟入し得るようにしたものである。尚図中 8 は側部用片 4 を形成する帯状片 3 の両端の縫合部、9 は緩接体 1 の中央の開口部、10 は掛けバンド 11 に取付けた頭当てパットを示す。

本考案のカバー体は上述したように側部が帯状の布片の両端部を縫合してまち状になつてゐるのでカバー全体に柔らかさを生じ、さらにこのまちを入れたことにより特に材質的に延びる生地でなくてもその内側に発泡ポリウレタン等よりなる環状の緩接体 1 を容易に挟入し得る効果がある。又本考案のカバーの主体はベツチンやラシヤ等の如く柔軟で肌ざわりがよく、しかも通気性、吸湿性のよい生地を使用しており、又環状緩接体 1 の中央の開口部 9 の部分もカバー体の上面用片 3 にて被包するようになつてい

1
 2
 3
 4
 5
 6
 7
 8
 9
 10
 11
 12
 13
 14
 15
 16
 17
 18
 19
 20

るが、これらの生地は通気性がよいのでヘッド
 ホーンより発する音波は緩接体1の中央の開口
 部9を経てカバー体の上面用片2の布目の間を
 容易に透過し得るものである。しかも上記の如
 く柔軟なる緩接体1のさらに外側に柔軟にして
 肌ざわりのよい生地で全面的にカバーしてある
 ので、このカバー体にて被包されたヘッドホー
 ンを長時間耳に当てゝいてもヘッドホーンの当
 る耳朵や頬部に圧迫感や疼痛を感じさせること
 がない。尚ベツチンやラシヤなどは吸湿性がよ
 いので、たとえ汗をかいてもこれを吸取るから
 顔面の肌をあらすことはなく、従つて曇々イヤ
 ーンホーンを使用しても顔面や耳殻に汗疹等が
 できたりすることがない。しかもベツチンやラ
 シヤは比較的安価で、大量生産が可能であるか
 ら生産コストも安く、又カバーが汚れた場合は
 容易に交換、又は取外して洗淨することも可能
 である等の効果を有するものである。

4. 図面の簡単な説明

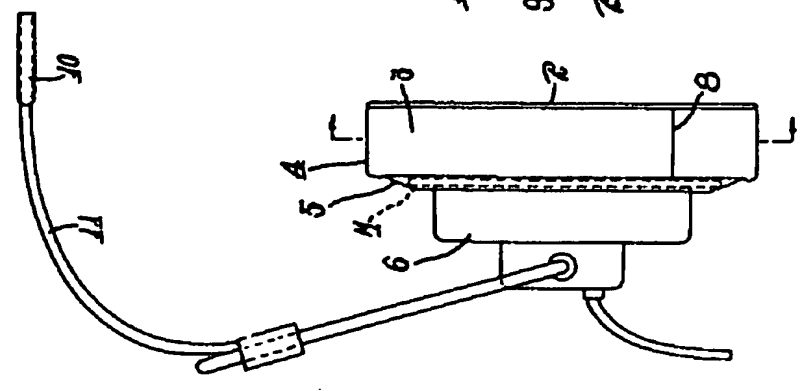
第1図は本考案のカバー体にてヘッドホーン

を被包した場合の正面図，第2図はヘッドホーンより外した状態におけるカバー体の斜視図，第3図は第1図の断線に沿ったカバー体の縦断面図，第4図はその一部の拡大断面図，第5図は第2図の断線に沿ったカバー体の断面図である。

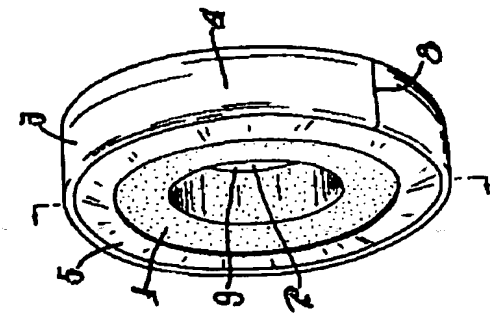
1…環状の緩接体，2…ベツチン，ラシヤ等の生地より裁断せる円形の上面用片，3…2と同生地より裁断せる帯状片，4…帯状片3の両端部を縫合した輪状の側部用片，5…塩化ビニールなどよりなる環状の薄片，6…ヘッドホーン本体，7…ヘッドホーン本体6の側部，8…帯状片3の両端の縫合部，9…緩接体1の中央の開口部，10…頭当てパット，11…掛けバンド。

実用新案登録出願人	株式会社	吉田興業
代理人	且	六郎佑
同	且	良弘

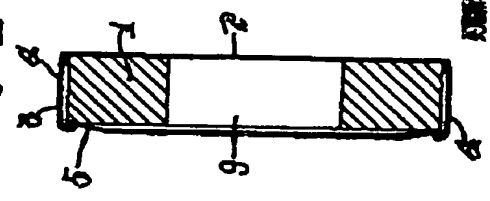
第1圖



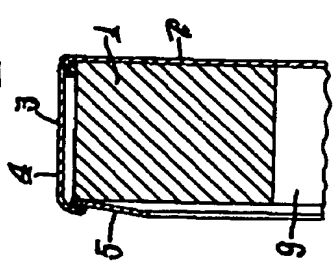
第2圖



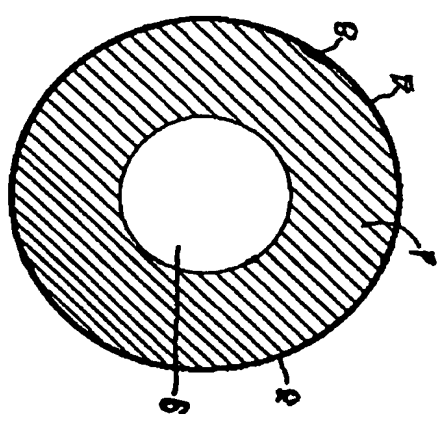
第3圖



第4圖



第5圖



特許庁長官の登録した商標
代理人 日 本 名 義 理 事 所
東京 市 千 代 田 区 千 代 田 1-1-1
電話 千 代 田 1-1-1

22

5. 出願審査請求書

1 通

6. 前記以外の代理人

郵便番号 110

住 所 東京都台東区上野3丁目23番6号

氏 名 (6094) 辨理士 旦 良 弘